

平成25年度 自己評価の結果について

(公表シート)

学校法人旭川カトリック学園 旭川天使幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・学校教育法に基づき幼児を教育し、キリスト教の精神と理念に基づいて、他者に対する思いやりと自己犠牲の精神を育む。
- ・キリストによって示された神の愛を知り、他者への祈りを通して世界観を持つ。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・自己点検・評価を通じて保護者のニーズを確認することで、本園としてのビジョンを明確化する。
- ・幼児教育が人間形成の根を作る時期であることを教師と保護者が共有し、子どもを他者と比較することなく育てる。
- ・宗話やお部屋で、園児が他者の為に祈る体験を多く持つ。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目・目標	取り組み状況
1 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	カリキュラムを実用的なものにするために、毎年様式を変えてきているが、ほぼ様式が完成してきた。 新卒を2名採用したので、経験ある教師と組ませたことは、成果があった。
2 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。	昨年、園児の人数に対して職員の数が少ないとの評価があり、職員を増やして充実を図った。朝の自由遊びでは、職員の配置をきちんと決め、安全に配慮している。
3 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質向上を図る。	教師一人ひとりの資質をあげるために、行事の『企画—実施—評価』を徹底している。(特に、成功した理由も分析している。)又、ミスがあった場合、原因を追求し、対策を立てる習慣をつけ、同じ間違いをしないように配慮している。
4 保護者への対応及び家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応を図る。	昨年、園児同士のトラブルに担任が気づかず不登園で長期欠席した園児がいた為、園児の情報を職員間で共有し、保護者との連絡を密に取るよう努力してきた。

<p>5 地域社会との連携 地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域開放の努力をする。</p>	<p>聾学校との交流の歴史（30年以上）とともに、充実している。聾学校の中学生や高校生のインターンシップを積極的に受け入れている。</p>
<p>6 研修と研究 研修・研究を積極的に行い、専門性を高める努力をする。</p>	<p>モンテッソーリ教育を指導できる職員が2名になったので、充実してきたが、まだ、スキルアップの必要はある。子育て支援の「預かり保育」や「未満児親子教室」に対する研修があまりできなかった。</p>
<p>7 情報公開 保育の現状等や自己点検・評価の結果等を個人情報の保護に留意しつつ、積極的に園便り等で情報公開する努力をする。</p>	<p>保育内容は、『週の予定』が出されているので、保護者の方からも明確であるとの評価を得ている。しかし、毎月、担当が“クラスだより”を出していても、働いているお母様にとっては、情報は少ないとの評価がある。その為、HPに取り組んでいきたかったが、結果は3学期に入って、本格的に取り組みだした。</p>

4. 平成24年度の課題と平成25年度の取り組み

H24年度の課題	H25年度の具体的な園の取り組み結果
<p>ホームページの更新の回数が少ない、『母親の係り』にしないで園で管理した方が良いのでは。</p>	<p>パソコンが昨年5月に新しくなり、学園もHPをリニューアルする計画があった。HPの係りのお母様のお仕事は、管理ではなくHPへの要望を伺っていた。本格的に取り組んだのは、1月でしたが、来年度は、ブログで毎週更新が出来る。</p>
<p>先生たちの質は高いが、園児に対しての先生の数が少ないので、目が行き届かないように感じる。</p>	<p>今年度は、職員を1名増やし、補助教員も6時間から8時間勤務にした。</p>
<p>先生と親が些細なことでも連絡が取りあえるような環境に努めて欲しい。</p>	<p>保護者の方にはメモでなく、些細な事でも、園から電話するように努力してきました。</p>

5. 平成25年度の学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

◎継続要望 △課題

1 保育の計画性

◎通常保育は、子ども達の興味を誘う計画性に優れていた。

△生活発表会と聖劇の時期が近く、子どもの負担になっていたと感じる。

△聖劇の完成度に比べ、生活発表会の仕上がり、内容がかなり見劣りします。準備期間が短いので2学期のスケジュールがハードすぎる気も・・・

2 保育の在り方、幼児への対応

◎施設もしっかりされ、ケガも少なく安全面は満足です。

◎園児本人の不注意によりケガをした時も、詳細を報告してくれたので安心出来ました。

3 保育者としての資質

◎子どもに対しての保育能力は高いと思われる。

△超ベテラン、中堅、新人で、年齢構成の人員のバランスが悪いように見受けられます。

中堅になった途端辞められると、もったいないです。結婚後でも続けられる職場環境が良いのではないかと。

△柄物ポケットティッシュの交換が流行りましたが、柄物ポケットティッシュ禁止ではなく、先生から園児に交換はダメと教えた方が良いのではないかと。

4 保護者への対応及び家庭との連携

◎園だより、クラスだよりがあり、いろいろな状況が目に見え、楽しかったです。

△保育者に対しての連絡（お便り等）少ないと思われる。

△園に出向ける保護者とは密だが、出向く機会が少ないと子どもの様子、情報がつかみにくい。

5 地域社会との連携

◎聾学校との交流は、とても素晴らしいと思います。どちらの子どもにも交流はこれからも続けた方が良くと思います。

◎聾学校とのつながりは素晴らしい。

6 研修と研究

◎ひよこ（未満児親子教室）と、パンダ（預かり保育）の協力体制は、良いと思います。

◎ひよことパンダの支援体制が整っている。

◎パンダは、いろいろなことをさせてくれたり園外に行ったり豊かで楽しかったようです。

△パンダのおやつが以前より少なくなったように思う。

△パンダを断らないで欲しいと思う。

△ひよこ組の代金を支払う方法を、前期と後期ではなく月契約だと通いやすいと思います。

△ひよこ組を先生と子どもが手を取り合い、触れ合うような内容にしたら良いと思います。

7 情報公開

△HPの更新が少ない。今後期待します。

8 その他

◎製作の時間が多いので、子どもの自己表現力の為、良かったです。

◎園外保育や外遊びが多い事が良かったです。

◎「おいのり しんせつ がまん」とても素晴らしいです。年少、年中くらいだと誰の為にお祈りしているのか良くわかってない時が多かったのですが、年長くらいになると、繰り返しお祈りすることで、少しずつ内容の理解も深まり、心の成長になったと思います。

◎バスの定刻運行が素晴らしいと思います。先生方の努力のお蔭なんだと痛感しました。

◎全体的には、園児への対応、親への対応はとても良いと思います。これからも良い所はどんどん良くなるように、改善点は改善してますます楽しい幼稚園になって下さい。

△4月の午前保育の日数の長さは、5年通園のうち、4年間は長すぎると思っていました。年中以上は体をもてあましていました。ちゅうりっぷ組（未満児）で、入園しても数日で通常保育になるのが不公平に思いました。

△バザーの規模をもう少し小さくして、係りが大変にならない対策をとったら良いと思います。

△運動会の指定の短パンは、運動会以外はく機会がほとんどないので、色を指定して市販で良いと思います。

7. 平成 25 年度の課題と検討事項

園の改善点

- △HP の活用の 1 つとして、仕事をしているお母様に HP を通して子どもの様子を知らせる。
- △預かり保育を利用しやすく、手違いがないように改善していく。
- △ひよこ教室（未満児親子教室）の体制を楽しく変える。

保護者との検討事項（茶話会などで話題にして下さい。）

- ▲ミニバザーを売り上げにこだわらず縮小していくか？
（今年度、検討実施）
- ▲運動会の指定の短パンは、色を指定して市販でよいか？
- ▲4 月の午前保育の期間を 1 週早くするか。
（そうなると、家庭訪問が入園式の次の週になり、子どもの様子は伝えられないデメリットがあることを踏まえて検討。）
- ▲2 学期の『生活発表会』と『聖劇』が子どもの負担になっているか。
（今年度は、年間行事を予定通り行いますが、来年度に向けて検討）
- ▲運動会で、昼からのプログラムをなくして午前中で運動会を終わらせる。
（今年度の、運動会後にアンケートをとり、来年度に向けて検討）

8. 財務状況

- ・大手監査法人である太陽 A S G 有限責任監査法人（東京）の監査を受け、適正に運営されていると認められている。
- ・また、法人本部の財務状況報告により法人内各幼稚園及び学園全体の財務状況は職員の間周知されていないので、来年度は、分かりやすく周知する。